



PVI 2026
外観検査ワークショップ
目視検査環境を見直し、
品質の安定と心身の健康を図る
<https://pvi.itlab.org/pvi2026/>



プログラム

開催日：2026年10月29日(木)~30日(金)

会場：倉敷市芸文館 アイシアター

〒710-0046 倉敷市中央 1-18-1

本ワークショップは、周辺視目視検査法を中心に、現場の課題解決を追求し続けてまいりました。今年のサブタイトルは、**『目視検査環境を見直し、品質の安定と心身の健康を図る』**です。過去の開催を振り返りますと、2017年の「目視検査の異次元展開」から始まり、近年では「健康を取り戻す」「健康で楽しくなる」「日本が復活するための改善」といった具合に、検査の効率化だけでなく、**検査員のウェルビーイング(心身の健康)**へとその焦点を広げてきました。今回のプログラムも、その集大成と言える非常に多角的な内容となっています。

環境の力 インテリア健康学の視点から、空間が心身に与える影響を考える基調講演。

技術と人の融合 AI時代だからこそ、現場の目視検査員から学ぶ自動外観検査の開発。

身体機能の向上 周辺視野を拡大し、検査員の疲労を軽減するための「北出式視覚トレーニング」や最新の有機EL照明の活用。

さらに、本ワークショップでは単なる座学にとどまらず、「検査体験」や「機器展示」を通じた実践的な学びを重視しています。遠隔作業支援、作業分析ソフト、敏捷性トレーニングギアなど、最新のツールを実際に手に取り、自社のワークについての相談も行える貴重な機会です。最終日には、**人間中心の「シン・IE(経営工学)」**についての講話や、モデルラインでの改善の進め方に関するパネルディスカッションも予定されています。この2日間を通じて、皆様が「鳥の目でラインを、虫の目で動作を」見つめ直し、品質の安定と、そこで働く方々の健康を両立させる新たなヒントを持ち帰っていただけることを切に願っております。

参加者 PVI2026 外観検査ワークショップでは、周辺視目視検査法について学び、積極的に現場展開を目指そうとする方々を優先します。

(1)開催地(都道府県)の企業/機関等 (2)過去に周辺視目視検査法のセミナー/これに準じる講演会/PVIへの参加者 (3)画像用技術専門委員会委員/感察工学研究会委員/実行委員会委員 (4)一般 (5)学生
 なお、ワークショップでは訓練体験等を行う関係で参加者数は、最大80名に制限させていただきます。

参加申込

参加費：一般15,000円 学生5,000円 機器展示50,000円(含2名)
 上記(1),(2),(3)の参加者 10,000円
 申込：PVI2026 <https://pvi.itlab.org/pvi2026/>
 先着80名。1名ごとお申込みください。
 締切：2026年8月31日
 問合せ：感察工学研究会 <https://geo-kumotore.com/kansatsu/>
 石井明 ishii.akira@kagawa-u.ac.jp
 〒779-5451 徳島県三好市山城町西宇1011-1
 赤川林業西宇事務所内 TEL：090-5146-2084

参加者の同意事項 周辺視目視検査法導入の実施例の紹介では、当該企業もしくは顧客の製品の写真、ビデオ等がスクリーンに映し出されることがあります。そこで、参加者は次の4項目に同意し、参加してください。

- 1)参加者による撮影・音声記録等は禁止します。
- 2)参加者一覧(所属企業・機関名・氏名)を作成し、参加者全員に配布します。
- 3)主催者は開催報告のための撮影と掲載を行います。
- 4)本事業終了後、(精密工学会のプライバシーポリシー)に従って参加者のメールアドレスに、主催者より開催報告及び目視検査に関するイベントのご案内を送ります。

お願い：参加者はご出身地自慢のお茶菓子、お飲物(お酒不可)、おつまみのいずれか1品御持参ください。交流討論会・休憩のときに供したいと思います。ご協力の程、よろしく願います。

主催：公益社団法人 精密工学会 画像応用技術専門委員会

企画：感察工学研究会

実行委員会

委員長：塩津弘康(丸五ゴム工業)

副委員長：皆川健多郎(大阪工業大学)、菅野純一(ヴァスコ・テクノロジーズ) 金田篤幸(ガゾウ)

事務局：石井明(香川大学名誉教授)、(現地)仁科和人(丸五ゴム工業) 幹事：青木公也(中京大学)、奥山弦(カネカ)、梅崎浩孝(カネカ)、梶原雅典(キレックス)、北出勝也(視覚トレーニング協会)、近藤嘉彦(トヨタ自動車)、佐々木章雄(周辺視目視検査研究所)、鈴木一成(OLED 青森)、中嶋良介(慶應義塾大学)、中野宏毅(元日本 IBM)、野村和史(日本生工技研)、広瀬彬(住友化学)、森由美(成城大学)、劉偉(東京エレクトロニクス)

委員：東川昌信(北川工業)、石井明(立命館大学)、稲垣和仁(富士電線工業)、今堀勇三(レイマック)、柴本知彰・藤澤興(カネカ)、尾田恵(業インテリアスタイリング)、菅康宏(キレックス)、北島明広・増田雄一(日産自動車 横浜工場)、久嶋浩之(浜松地域イノベーション推進機構)、篠田正行(目視検査科学化推進センター)、高橋一哉(高橋一哉特許事務所)、高見孝一(コムノケキ)、滝聖子(香川大学)、田代安彦(三菱マテリアル)、本多航也(ヴァスコ・テクノロジーズ)、本田良二郎(ヴァスコ・テクノロジーズ)、丸地三郎(日本古代史ネットワーク)、横山真智子(三重大学)

顧問：興水大和(中京大学名誉教授)、寺田賢治(徳島大学)

野口稔(日立ハイテック)、山本和彦(岐阜大学名誉教授)

10月29日(木) 13:00~20:00

受付 13:00~ 大原美術館招待券配布受付(事前予約者)10:00~

体験展示 13:00~

開会 13:50 委員長：塩津弘康(丸五ゴム工業)

検査体験と展示機器体験 14:00~15:50

- (1)検査体験の説明 14:00~14:25 石井明(香川大学名誉教授)
- (2)展示機器の紹介 14:30~15:00 (5分/社)
 - ① ㈱ガゾウ 遠隔作業支援システム/技能の可視化サポート
 - ② ㈱カネカ 目視検査用有機EL照明
 - ③ ㈱日本生工技研 作業分析ソフト TimePrism 室内作業者測位ツール InQross カイゼンメカ
 - ④ (一社)視覚トレーニング協会 北出式視覚トレーニング
 - ⑤ ㈱スマートスタート REAXION(究極の敏捷性トレーニングギア)
- (3)検査体験と展示機器体験と北出式視覚トレーニング体験 15:00~

持参製品・ワークの検査相談 16:00~16:40

佐々木章雄(周辺視目視検査研究所)、石井明(香川大学名誉教授)

基調講演 I 16:50~17:30

心と体を整える インテリア健康学 — 健康を支える環境の力 — 尾田恵(業インテリアスタイリング)
 (交流会準備)

交流会 18:00~20:00 (同一会場)

参加者には自己紹介と持参土産(任意)紹介(1分/社)

10月30日(金) 9:20~16:50

受付 8:50~

ブリーフィング 9:20~

基調講演 II 09:30~10:20

人に学ぶ自動外観検査の開発—AI時代だからこそ現場・目視検査員に学ぶ— 青木公也(中京大学)

作業分析/改善ツールによる事例紹介 10:30~11:50

- (1)アイトラッキングによる視線解析や骨格解析による技術の可視化と作業マニュアル作成 金田篤幸(ガゾウ)
- (2)検査員の健康に寄り添う有機EL照明 梅崎浩孝(カネカ)
- (3)Time Prismによる撮影ビデオからの作業改善提案と作業動画マニュアル作成 InQross カイゼンメカによる作業移動測位から発見できた事例発表 □□□□(日本生工技研)
- (4)REAXIONによる周辺視野拡大と敏捷性トレーニング 奥島康志(スマートスタート)

(2日目からの参加者の自己紹介)

(軽食)

基調講演 III 13:00~13:40

目視検査の改善のための北出式視覚トレーニング 北出勝也(視覚トレーニング協会)

改善事例紹介 13:50~14:40

- (1)続・有機EL(OLED)照明による疲労軽減~検査員に愛ある寄り添いを~(仮題) 安藤智里/鈴木一成(OLED 青森)
- (2)北出式視覚トレーニングの効果と運用 増田雄次(三実精工)
- (3)目視検査改善の進め方とその成果 塩津弘康(丸五ゴム工業)

(休憩・PD準備)

パネルディスカッション 15:00~16:20

ファシリテータ：皆川健多郎(大阪工業大学) 石井明(香川大学名誉教授)
 目視検査改善(モデルライン試行・検証、順次切替)の上手な進め方
 事前質問・会場質問 パネリスト 4名(予定)

講話 16:00~16:20

人間中心の『シン・IE』のすすめ。鳥の目でラインを、虫の目で動作をカイゼン 皆川健多郎(大阪工業大学)

講評 16:30 IAIP 委員長/顧問

閉会 16:35~16:50

- ・藤木達夫氏(丸五ゴム工業代表取締役)
- ・PVI2027 案内
- ・閉会挨拶 皆川健多郎(大阪工業大学)

PVI2026 プログラム

第1日 10月29日(木) 13:00~20:00

会場仮受付 10:00~ 大原美術館の招待券配布(事前予約者)

一般受付 13:00~ (IAIP事務局担当者)

体験展示 13:00~

開 会 13:50 塩津弘康(丸五ゴム工業)

検査体験と展示機器体験 14:00~15:50

(1) 検査体験の説明 14:00~14:25 石井明(香川大学名誉教授)

(2) 展示機器の紹介 14:30~15:00(5分/社)

① (株)ガゾウ 遠隔作業支援システム/技能の可視化サポート

② (株)カネカ 目視検査用有機EL照明

③ (株)日本生工技研 作業分析ソフト TimePrism, 室内作業者測位ツール InQross カイゼンメーカー

④ (一社)視覚トレーニング協会 北出式視覚トレーニング

⑤ (株)スマートスタート REAXION(究極の敏捷性トレーニングギア)

(3) 検査体験と展示機器体験と北出式視覚トレーニング体験 15:00~15:50

持参製品・ワークの検査相談 16:00~16:40

佐々木章雄(周辺視目視検査研究所)、石井明(香川大学名誉教授)

基調講演 I 16:50~17:30

心と体を整える インテリア健康学 — 健康を支える環境の力 —

尾田恵(業インテリアスタイリング)

(交流会準備)

交流会 18:00~20:00 (同一会場)

参加者には自己紹介と持参土産(任意)紹介(1分/社)

ノンアル+瀬戸内海の幸・岡山の幸

第2日 10月30日(金) 09:20~16:50

一般受付 08:50~

ブリーフィング 09:20

基調講演II 09:30~10:20

人に学ぶ自動外観検査の開発 –AI時代だからこそ現場・目視検査員に学ぶ–
青木公也(中京大学)

作業分析/改善ツールによる事例紹介 10:30~11:50

- (1) アイトラッキングによる視線解析や骨格解析による技術の可視化と作業マニュアル作成
金田篤幸(ガゾウ)
- (2) 検査員の健康に寄り添う有機EL照明 梅崎浩孝(カネカ)
- (3) Time Prism による撮影ビデオからの作業改善提案と作業動画マニュアル作成
InQross カゼンメカによる作業員移動測位から発見できた事例発表 □□□□(日本生工技研)
- (4) REAXION による周辺視野拡大と敏捷性トレーニング 奥島康志(スマートスタート)
(軽食)

基調講演III 13:00~13:40

目視検査の改善のための北出式視覚トレーニング 北出勝也(視覚トレーニング協会)

改善事例紹介 13:50~14:40

- (1) 続・有機EL(OLED)照明による疲労軽減~検査員に愛ある寄り添いを~(仮題)
安藤智里/鈴木一成(OLED 青森)
- (2) 北出式視覚トレーニングの効果と運用 増田雄次(三実精工)
- (3) 目視検査改善の進め方とその成果 塩津弘康(丸五ゴム工業)
- (4) その他 1~2例
(休憩・PD準備)

パネルディスカッション 15:00~16:20

ファシリテータ: 皆川健多郎(大阪工業大学) 石井明(香川大学名誉教授)

目視検査改善(モデルライン試行・検証、順次切替)の上手な進め方

事前質問・会場質問 パネリスト 4名(予定)

講話 16:00~16:20

人間中心の『シン・I E』のすすめ。鳥の目でラインを、虫の目で動作をカイゼン
皆川健多郎(大阪工業大学)

講評 16:30 IAIP 委員長/顧問

閉会 16:35~16:50

- ・藤木達夫氏(丸五ゴム工業代表取締役)
- ・PVI2027案内
- ・閉会挨拶 皆川健多郎(大阪工業大学)

基調講演・講話紹介

基調講演 I

心と体を整える インテリア健康学 — 健康を支える環境の力 —

尾田恵 (おだ・めぐみ)

博士 (公衆衛生学)・インテリアデコレーター

(株)菜インテリアスタイリング 代表取締役

活動：大手不動産会社・インテリア事務所勤務を経て、2007年に独立。多様な実務経験を基盤に、心身の健康支援を目的とする環境デザインメソッド

「アクティブ・ケア®」を提唱。住環境・職場環境整備を軸に、空間が心身の健康や行動に及ぼす影響を研究・実践。2018年日本インテリア健康学協会設立、代表理事。著書『～光とインテリアで整う～最高のテレワーク空間』。健康・産業保健分野の専門誌『へるすあっぷ21』(法研)にて連載中。



基調講演 II

人に学ぶ自動外観検査の開発 —AI時代だからこそ現場・目視検査員に学ぶ—

青木公也 (あおき・きみや)

博士 (工学)・中京大学 工学部機械システム工学科教授

同大学先端共同研究機構 人工知能高等研究所所長

講演概要：画像処理による外観検査の自動化は、いわゆる古くて新しい課題の一つです。近年では、AI技術の発展によって課題解決のスピードが飛躍的に向上し、外観検査機器分野もかつてない活況を呈しており、新規参加者が急増しています。ただそれでも、外観検査の現場における自動化の困難性はまだまだ高い状況にあります。「AI技術はこんなにも強力なのに、なぜ外観検査自動化の【詰めの一手】にならないのか？」本講演では、目視検査員のやり様に学ぶことにブレイクスルーを見出そうと取り組んできた自動化研究の経緯を、モノづくり・検査の最前線にいらっしゃる皆様へ共有させていただきます。それによって、目視検査と自動検査の先にある方法論についての議論の切っ掛けとなれば幸いです。



基調講演 III

目視検査の改善のための北出式視覚トレーニング

北出勝也 (きたで・かつや)

米国オプトメトリー・ドクター (一社)視覚トレーニング協会 代表理事

活動：視機能トレーニングセンターJoyVision 神戸で開設し、学習困難の子どもたちやスポーツ選手などの視覚機能検査・指導に携わる。2003年より現在まで兵庫県立特別支援教育センター巡回相談員を勤める。2015年より3年間 プロボクシングWBA世界ミドル級チャンピオン村田諒太選手のビジョントレーニング®指導。2019年より現在まで東京都練馬区特別支援教育アドバイザー。著書：「学ぶことが大好きになるビジョントレーニング®」 図書文化社、「クラスで楽しくビジョントレーニング®」 図書文化社、他多数。



講話

人間中心の『シン・IE』のすすめ。鳥の目でラインを、 虫の目で動作をカイゼン

皆川健多郎（みながわ・けんたろう）

博士（工学）・大阪工業大学情報科学部データサイエンス学科教授

日本経営工学会副会長、日本設備管理学会副会長

講話概要：Eは従来の人や作業中心の「オールドIE」から、システムや意思

決定を重視する「モダンIE」へと進化してきました。近年のDX推進で

は、デジタル技術が目的化しがちですが、多様な社会・経営課題の解決にはIEを基盤とした取り組みが不可欠です。さらに、人間中心の視点で働き方や役割そのものを見直し、収益構造をより強固にする新たな考え方として「シン・IE」を提唱します。ライン全体をみる鳥の目、そして細かな動作に着眼する虫の目、これらの視点の説明も交えつつ、みなさんとIE的視点から検査について一緒に考えてみたいと思います。

